



クリスマスローズ(中庭)

つながり

自ら動き、感じ、楽しむ ~笑顔あふれる幼稚園~
~やさしく かしく たくましく~

13号

R4. 3. 7

山口大学教育学部附属幼稚園

副園長 大森 洋子

しめくいのとき

早いもので、卒業や修了まであとわずかとなりました。子どもたちは、それぞれに寸暇を惜しむように遊んでいます。花組さんは、クラスのいろいろな友達とかかわるようになり、裏庭や大庭にも出かけています。ウサギのお世話の仕方を引き継いだ風組さんは、先生と一緒にお世話に出かけて、どこか誇らしげ。星組さんは卒業を目前に名残惜しさを感じているように見受けられます。大きなトラブルがなく、その年齢なりに阿吽の呼吸で遊びを進めていけるのがこの時期の特徴です。クラスの友達のことが分かり、友達がどう思っているか、どんなふうを感じたり言ったりするかある程度予想が付き、察したり合わせたりしながら遊べるようになるのです。子どもって素晴らしいです。

ある日の朝、登園の流れが途切れたときの時計を見ると、9時2分でした。今年は、多くの方が登園時刻を守ってください、保護者の方も素晴らしいです。本園の生活重点目標は、「明るいあいさつ・やさしいことば・話を聞く・時間を守る」ですが、今年度の保護者学校評価アンケートでは、この項目に関するの評価が昨年度よりも高かったことを思い出しました。皆さんが自覚し、意識して取り組んでくださっている証だと実感しているところです。ありがとうございます。子どもも保護者も、そして私たち保育者も、共に決まりを守ったり、進んであいさつをしたり、言葉遣いに気をつけたりしながら、しっかりとしめくって、気持ちよく今年度を終えたいと思います。



お別れ遠足(3/2)：風組と星組は、春日山など思い出の場所を経由しながら、亀山公園山頂を目指しました。農場や園外保育で1列で歩くことが上手になっているので、飼育の引き継ぎを一緒にしたグループで星組が風組を挟みながら歩きました。風組のAちゃんは、「星組になったら、今度は私たちが風組さんを守ってあげるんだ。がんばる!」と言っていました。花組は、星組の力を借りずに自分達で歩きました。先に山頂について待っていた風組さんと星組さんが拍手をして迎えてくれました。全園児と一緒に公園で過ごし、思いきり走ったり、鬼ごっこや散策を楽しんだりしました。幼稚園に戻るよと声をかけると、「まだ、亀山公園に行っていない」と言う子どもが続出。子どもたちの間では「山頂公園」と呼んでいる場所で、「亀山公園」は別の場所をさしているのだと分かりました。以後気をつけます。

園に戻ってのお弁当は、今度は、花組と星組が大庭で食べて、風組は裏庭で風組同士で食べました。



ひなまつりお祝い会(3/3)・お帰り参観：3日は、雛人形を見たり、歌をうたったり、クイズをしたりしながら、桃の節句を楽しみ、3色ゼリーとカルピスをいただきました。お帰り参観にもお越しいただきありがとうございます。短時間ではありましたが、帰りの時間を感じていただけたのではと思います。急なご案内となり、ご都合がつかない方もおありだったと思います。少しでも様子をご覧いただくための苦肉の策として、ご理解いただけると嬉しいです。

アプローチの花壇に置いているリスとウサギ。ウサギは、コメちゃん(現在飼っているウサギ)・マロンちゃん(以前飼っていたウサギ:よく知っていますね)と呼んで、なでたり親しんだりしています。ときに子どもたちがセンス良くレイアウトしてくれていて、見るたびに位置が変わっているのが面白いです。

リスは、片耳が欠けてしまったため、このたび新しいリスを迎えましたが、Bちゃんはいつも欠けた所に葉を挿して耳を作ってくれていました。これもまたかわいらしいできごとでした。子どもの感性って素敵ですね。

